

# 神戸女子短期大学学則

## 第1章 目的及び使命

(目的)

**第1条** 本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、女性生活に関する教養と技術について高等教育を施し、望ましい社会人を育成することを目的として、もって我が国の文化の進展に寄与しようとするものである。

2 教育と学術研究の成果を通じて、世界の平和と人類の福祉及び地域社会に貢献する。

3 本学の設置する各学科における教育研究上の目的については別に定める。

(自己点検及び評価)

**第1条の2** 本学は、前条の目的を達成し、教育研究水準の向上に資するため、本学における教育研究等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価に関する事項は別に定める。

## 第2章 学科、学生定員及び修業年限

(学科及び学生定員)

**第2条** 本学において設置する学科及びその学生定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	収容定員
総合生活学科	100人	200人
食物栄養学科	60人	120人
幼児教育学科	80人	160人

2 本学の食物栄養学科のクラス数は、1学年2クラスとする。

(修業年限及び在学年限)

**第3条** 本学の修業年限は2年とする。

2 学生は4年を超えて在学することはできない。

## 第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

**第4条** 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

**第5条** 学年を次の2学期に分ける。

(1) 前期 4月1日から原則として9月30日まで

(2) 後期 原則として10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

**第6条** 休業日は次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
  - (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
  - (3) 本学創立記念日 11月11日
  - (4) 春季、夏季及び冬季休業に関しては、別に定める本学の学年暦による。
- 2 必要がある場合、前項の休業日を変更し、授業を行うことがある。
- 3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定めることができる。

#### 第4章 入学、退学及び休学

(入学の時期)

**第7条** 入学の時期は学年の初めとする。

(入学の資格)

**第8条** 本学に入学を許可する者は女子に限り、次の各号の一に該当し、本学の入学者選考に合格した者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者又は大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者
- (7) その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(入学の出願)

**第9条** 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて、期日までに提出しなければならない。

(入学者の選考)

**第10条** 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

**第11条** 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、身元保証書その他本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学料を納付しなければならない。

ない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(再入学、転入学)

**第12条** 本学に再入学又は転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上相当年次に入学を許可することがある。

2 前項の規定により入学を許可された者の、既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、学長が決定する。

3 再入学及び転入学に関して必要な事項は別に定める。

(退学)

**第13条** 退学しようとする者は、所定の手続により願い出て、学長の許可を受けなければならない。

2 退学に関するその他の事項は、別に定める。

(休学)

**第14条** 疾病その他やむを得ない事情により休学しようとする者は、所定の手続により学長に願い出て、許可を受けなければならない。

2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

3 休学に関するその他の事項は、別に定める。

(休学の期間)

**第15条** 休学の期間は、通算して1年を超えることができない。

2 休学の期間は、第3条第2項の在学期間に算入しない。

(復学)

**第16条** 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

2 復学に関するその他の事項は、別に定める。

(除籍)

**第17条** 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

(1) 第3条第2項に定める在学年限を超えた者

(2) 第15条に定める休学の期間を超えてなお修学できない者

(3) 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(4) 長期間にわたり行方不明の者

2 除籍に関するその他の事項は、別に定める。

(転科)

**第17条の2** 学生に他の学科への転科を志望する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上相当年次に転科を許可することがある。

2 前項の規定により転科を許可された者の、既に修得した授業科目及び単位数の取扱い

並びに在学すべき年数については、学長が決定する。

### 3 転科に関して必要な事項は別に定める。

## 第5章 授業科目及び履修方法等

(授業科目)

**第18条** 授業科目を分けて、教養科目及び専門科目とする。

2 授業科目の種類及び単位数は、別表第1のとおりとする。

**第19条** 前条に定めるもののほか、教職に関する専門科目を置く。

2 授業科目の種類及び単位数は、別表第2のとおりとする。

(単位の計算方法)

**第20条** 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による授業効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については、15時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。

(4) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、別に定める時間の授業をもって1単位とする。

(授業日数)

**第20条の2** 授業期間は、試験等の期間を含め、年間35週にわたることを原則とする。

(多様なメディアを高度に利用した学修)

**第20条の3** 文部科学大臣が別に定めるところにより、第20条の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

(履修登録)

**第21条** 毎学年度の初め、学生は、履修しようとする授業科目を学長に届出なければならない。

2 他学科の授業科目を聴講しようとする場合も、前項の規定を適用する。

(単位の授与)

**第22条** 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(他の短期大学又は大学における授業科目の履修等)

**第22条の2** 本学が教育上有益と認めるときは、他の短期大学又は大学との協議に基づ

き、学生が当該短期大学又は大学において履修した授業科目について修得した単位を、15単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の短期大学又は大学に留学する場合に準用する。この場合において、本学において修得したものとみなすことができる単位数は、前項及び第22条の3第2項の単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

(短期大学又は大学以外の教育施設等における学修)

**第22条の3** 本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校  
の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目  
の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項により修得したものと合わせて15単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

**第22条の4** 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に短期大学又は  
大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学入学後の本学における授  
業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目  
の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、転入学等の場  
合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて15単位を超えない  
ものとする。

- 4 入学前の既修得単位の認定に関して必要な事項は別に定める。

(他学科における授業科目の履修等)

**第22条の5** 本学が教育上有益と認めるときは、学生は他学科において開設されている  
授業科目を履修し、その単位を修得することができる。

- 2 他学科における授業科目の履修等に関して必要な事項は別に定める。

(学修の評価)

**第23条** 学修の評価は、秀、優、良、可、不可をもって表し、可以上を合格とする。

- 2 評点と評価基準は別に定める。

## 第6章 卒業等

(卒業の要件)

**第24条** 本学を卒業するためには、学生は2年以上在学し、次の各号に基づき、別表第  
1に定める単位を修得しなければならない。

- (1) 総合生活学科

教養科目 12単位以上

専門科目 50単位以上 計62単位以上

(2) 食物栄養学科

教養科目 12単位以上

専門科目 50単位以上 計62単位以上

(3) 幼児教育学科

教養科目 12単位以上

専門科目 50単位以上 計62単位以上

2 前項の規定により卒業の要件として修得すべき単位数のうち、第20条の3の授業の方法により修得する単位数は、30単位を超えないものとする。

(卒業)

**第25条** 本学に2年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、学長が卒業を認定する。

(学位の授与)

**第26条** 前条の規定により卒業した者には、本学学位規程の定めるところにより短期大学士の学位を授与する。

(資格の取得)

**第27条** 本学において取得することができる資格及び免許状の種類は次のとおりとする。

学 科	資格及び免許状の種類
総合生活学科	中学校教諭二種免許状 (家庭)
食物栄養学科	栄養教諭二種免許状 栄養士免許証
幼児教育学科	幼稚園教諭二種免許状 保育士資格

2 中学校教諭二種免許状を取得しようとする者は、別表第1及び別表第2に定めるところにより、85単位以上を修得しなければならない。

3 幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、別表第1及び別表第2に定めるところにより、62単位以上を修得しなければならない。

4 栄養教諭二種免許状を取得しようとする者は、栄養士免許証を取得し、かつ、別表第1及び別表第2に定めるところにより、81単位以上を修得しなければならない。

5 栄養士免許証を取得しようとする者は、別表第1及び別表第3に定めるところにより、63単位以上を修得しなければならない。

6 保育士資格を取得しようとする者は、学則第24条の規定によるほか、別表第1及び別表第4に定めるところにより、81単位以上を修得しなければならない。

## 第7章 入学検定料及び学納金

(入学検定料等の金額)

**第28条** 入学検定料は30,000円とする。ただし、大学入試センター試験を利用する場合の入学検定料は15,000円とする。また、一般入試前期と大学入試センター試験利用入試(前期)、並びに一般入試後期と大学入試センター試験利用入試(後期)を同時に出席する場合の大学入試センター試験利用入試に係る入学検定料は無料とする。

**第28条の2** 学納金は、入学金、授業料、教育・施設充実費、実習費とし、別表第5に定める額とする。

(1) 本学、神戸女子大学及び神戸女子大学瀬戸短期大学を卒業後、他学科に入学する者の入学金は半額とする。

(2) 本学を中途退学した者又は除籍された者が再び同一学科に入学する場合の入学金は半額とする。

(授業料等の納入時期)

**第29条** 授業料及び教育・施設充実費(以下「授業料等」という。)は、前・後期の2期に分けて、所定の期日までに納入しなければならない。

**第29条の2** 実習費は、実習時期に応じて納入するものとする。

(退学及び停学の場合の授業料等)

**第30条** 学期の途中で退学し、又は除籍された者の当該学期分の授業料等は徴収する。

2 停学期間中の授業料等は徴収する。

(休学の場合の授業料等)

**第31条** 休学を許可され、又は命じられた者については、休学した月から復学した月の前月までの授業料等を4分の3免除する。

(復学の場合の授業料等)

**第32条** 学期の中途において復学した者は、復学した月から当該学期末までの授業料等を、復学した月に納付しなければならない。

**第32条の2** 再入学した者の授業料等については、再入学した当該学年の授業料等の額とする。

(納付した授業料等)

**第33条** 納付した入学検定料、入学金及び授業料等は、原則として返付しない。

## 第8章 教職員組織

(職員組織)

**第34条** 本学に、学長、教授、准教授、助教、助手、事務職員を置く。

2 本学に前項のほか、副学長、講師、技術職員を置くことができる。

## 第9章 教授会

(教授会)

**第35条** 本学に、教授会を置く。

(教授会の構成)

**第36条** 教授会は、短期大学部長、教授、准教授、助教及び講師をもって組織する。

2 前項の規定にかかわらず、教授会又は短期大学部長が必要と認めるときは、職員の出席を求めることができる。

**第37条** (削除)

**第38条** (削除)

(教授会の審議事項)

**第39条** 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
  - (2) 学位の授与
  - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及びその他の教授会が置かれる組織の長(以下この項において「学長等」という。)がつかさどる教育研究に関する次に掲げる事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

- (1) 授業に関する事項
  - (2) 学生に対する学内諸規定に関する事項
  - (3) 学生の厚生補導に関する事項
  - (4) 学生の褒章に関する事項
  - (5) その他学生の教育及び研究において必要とする事項
- (その他)

**第39条の2** その他教授会の運営に関し必要な事項については、学長が別に定める。

## 第10章 科目等履修生、聴講生、外国人留学生及び単位互換生

(科目等履修生、聴講生及び外国人留学生)

**第40条** 本学の科目等履修生、聴講生及び外国人留学生を希望する者のあるときは、本学の入学資格に基づいて選考し、本学の授業に差し支えない範囲内において、これを許可する。

2 科目等履修生、聴講生及び外国人留学生に関して必要な事項は別に定める。



(単位互換生)

- 第40条の2** 他の短期大学又は大学との協議に基づき、当該短期大学又は大学に在学する学生が本学の授業科目の履修を希望するときは、本学の教育に差し支えない範囲内において、単位互換生としてこれを許可する。
- 2 前項の規定は、外国の短期大学又は大学に在学する学生が本学に留学する場合に準用する。
- 3 単位互換生の受入れに関して必要な事項は別に定める。

## 第11章 賞罰

(表彰)

- 第41条** 学生として表彰に値する行為があった者は、学長が表彰する。
- 2 学生の表彰に関して必要な事項は別に定める。

(罰則)

- 第42条** 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する言動ある者に対しては、学長がこれを懲戒する。
- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する学生に対して行う。
- (1) 学業劣等若しくは疾病により成業の見込みがないと認められた者
  - (2) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
  - (3) 正当な理由なく出欠席が定まらない者
  - (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
- 4 懲戒に関するその他の事項は、別に定める。

## 第12章 図書館

(図書館)

- 第43条** 本学に図書館を置く。
- 2 図書館に関する規則及び規程は別に定める。

## 第13章 公開講座

(公開講座)

- 第44条** 地域社会の教育文化の発展に貢献するため、公開講座を開設することがある。
- 2 公開講座に関して必要な事項は別に定める。

## 第 1 4 章 厚生施設

(保健室)

**第 45 条** 本学に保健室を置く。

2 保健室に関する規程は別に定める。

**附 則**

この学則は、昭和 4 1 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この学則は、昭和 4 9 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この学則は、昭和 5 4 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この学則は、昭和 5 6 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この学則は、昭和 5 7 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この学則は、昭和 6 1 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この学則は、昭和 6 2 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この学則は、昭和 6 3 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

1 この学則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 4 年度から平成 1 2 年度までの間、各学科の学生定員は、第 2 条に定める定員にかかわらず、次のとおりとする。

年度 学科	平成 4 年度		平成 5～11 年度		平成 12 年度	
	入学定員	総定員	入学定員	総定員	入学定員	総定員
服装科	150 人	230 人	150 人	300 人	80 人	230 人
家政科	500 人	800 人	500 人	1000 人	300 人	800 人
初等教育科	80 人	160 人	80 人	160 人	80 人	160 人

### 附 則

この学則は、平成5年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

### 附 則

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 総合生活学科及び食物栄養学科の設置認可によって、平成8年度から平成12年度までの間、各学科の学生定員は、第2条に定める定員にかかわらず、次のとおりとする。

年度 学科	平成8年度		平成9～11年度		平成12年度	
	入学定員	総定員	入学定員	総定員	入学定員	総定員
総合生活学科	350人	350人	350人	700人	180人	530人
食物栄養学科	200人	200人	200人	400人	100人	300人
初等教育学科	80人	160人	80人	160人	80人	160人

- 3 総合生活学科、食物栄養学科の設置認可及び初等教育学科への名称変更によって、服装科、家政科及び初等教育科の在籍学生については、それぞれの入学時の学則を適用するものとし、該当する学生が在籍する限り、それぞれの入学時の学則適用は存続するものとする。

### 附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。ただし、第19条中レクリエーション・インストラクター資格取得に係る規定、第22条の2、第22条の3、第22条の4、第27条中、入学金及び授業料に係る規定、第27条の2に定める規定は、平成10年度入学生から適用する。

### 附 則

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

### 附 則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 臨時的定員の延長認可によって、平成12年度から平成16年度までの間、各学科の学生定員は、第2条に定める定員にかかわらず、次のとおりとする。

年度 学科	平成 11 年度		平成 12 年度		平成 13 年度	
	入学定員	総定員	入学定員	総定員	入学定員	総定員
総合生活学科	350 人	700 人	258 人	608 人	231 人	489 人
食物栄養学科	200 人	400 人	180 人	380 人	180 人	360 人
初等教育学科	80 人	160 人	80 人	160 人	80 人	160 人

年度 学科	平成 14 年度		平成 15 年度		平成 16 年度	
	入学定員	総定員	入学定員	総定員	入学定員	総定員
総合生活学科	204 人	435 人	177 人	381 人	150 人	327 人
食物栄養学科	180 人	360 人	180 人	360 人	180 人	360 人
初等教育学科	80 人	160 人	80 人	160 人	80 人	160 人

**附 則**

この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

- 1 この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。

**附 則**

この学則は、平成 18 年 1 月 12 日から施行する。

**附 則**

- 1 この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。

**附 則**

- 1 この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。

**附 則**

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。

**附 則**

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。  
2 この学則の施行前に在籍する学生については、第17条の2の規定を除き、なお、従前の例による。

**附 則**

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。  
2 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。ただし、第52条第2項の規定及び別表第1（1）教養科目のうち「地域学入門」の授業科目については、平成21年4月1日から適用する。

**附 則**

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。  
2 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。

**附 則**

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。  
2 この学則の施行前に在学する学生については、第1条の2、第37条、第40条及び第45条の規定を除き、なお、従前の例による。

**附 則**

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。  
2 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。

**附 則**

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。  
2 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。

**附 則**

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。  
2 第2条に規定する総合生活学科の平成27年度の収容定員は、次のとおりとする。

学科	年度	平成27年度
総合生活学科		270人

- 3 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。

**附 則**

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。  
2 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。

### 附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第28条の入学検定料については、平成29年度入学試験から適用する。
- 3 第2条に規定する食物栄養学科の平成29年度の収容定員は、次のとおりとする。

学科	年度	平成29年度
		収容定員
食物栄養学科		260人

- 4 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。

### 附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。

### 附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 この学則の施行前に在学する学生については、第37条の規定を除き、なお、従前の例による。

### 附 則

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 この学則の施行前に在学する学生については、第20条の2、第20条の3、第24条第2項及び第28条の2の規定を除き、なお、従前の例による。

### 附 則

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 第2条に規定する令和3年度の収容定員は、次のとおりとする。

学科	年度	令和3年度
		収容定員
総合生活学科		220人
食物栄養学科		180人
幼児教育学科		180人

- 3 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。

別表第1(第18条関係)

(1) 教養科目

授 業 科 目		単 位 数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
心身の健康科目群	教育学		2		教育職員免許状(幼二・中二・栄教二)及び保育士資格取得のためには、「情報リテラシー」、「日本国憲法」、「体育講義」、「体育実技」は必修  「体育実技」は、食物栄養学科必修
	生命の倫理		2		
	衣生活の知識		1		
	食事学		2		
	食品科学		2		
	体育講義		2		
	体育実技		1		
	健康づくり・生活支援入門		2		
	健康づくり・生活支援ワークショップ		2		
	健康・生活支援指導論実習		1		
コミュニケーション科目群	異文化コミュニケーション		2		
	心理学		2		
	英会話		1		
	英語コミュニケーション(a)	1			
	英語コミュニケーション(b)	1			
	英語講読(a)		1		
	英語講読(b)		1		
	フランス語 I		1		
	フランス語 II		1		
	中国語 I		1		
	中国語 II		1		
	イタリア語 I		1		
	イタリア語 II		1		
	スペイン語		1		
	ドイツ語		1		
	韓国語		1		
日本語入門		2			
海外語学演習		3			
人間関係づくりワークショップ		2			
感性を磨く科目群	造形美術		1		
	舞台芸術		2		
	芸術表現学		2		
	音楽鑑賞		1		
	日本文学		2		
	日本の伝統文化		2		
キャリア科目群	情報リテラシー(コンピュータの活用)		1		
	キャリアへのアプローチ I		2		
	キャリアへのアプローチ II		1		
	ライフデザインセミナー		1		
	インターンシップ		1		
	キャリアと生活		2		
社会を理解する科目群	子どもと社会		2		
	神戸の歴史学		2		
	日本の生活文化		2		
	ボランティアの実践		1		
	日本国憲法		2		
	地域コミュニティ入門		2		

授 業 科 目		単 位 数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
社会 科を 目理 群解 する	防災・防犯入門		2		
	防災・防犯ワークショップ		2		
	防災・防犯指導論実習		1		
	地域連携インターンシップ I		1		
	地域連携インターンシップ II		1		
	社会と生活		2		
計		2	78	12	



## (2) 専門科目

## 総合生活学科

授 業 科 目			単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
学 科 基 礎 科 目	必修 科目	総合生活論	2		2単位以上 選択必修  学科基礎科目の中から12単位 以上選択必修 (必修5単位、選択必修3単位 を含む)  1単位以上 選択必修	
		基礎ゼミ	1			
		総合生活演習	2			
	選択 科目	被服学		2		
		調理学		2		
		住居学		2		
		情報社会論		2		
		社会福祉概論		2		
		家庭経営(家庭経済を含む)		2		
		健康管理概論		2		
		環境保全論		2		
		消費生活論		2		
		家族関係		2		
		保育学(実習を含む)		2		
		被服構成基礎実習		1		
		調理基礎実習		1		
住居デザイン基礎実習		1				
情報基礎演習		1				
選 択 科 目	基礎 デザ イン	色彩学		2		
		デッサン演習		1		
		CG演習Ⅰ(グラフィック)		1		
		CG演習Ⅱ(ビジネス文書)		1		
		デザイン論		2		
	ビ ュ ー テ ィ ー デ ザ イ ン	ブライダル・プランナーⅠ		2		
		ブライダル・プランナーⅡ		2		
		ブライダルコーディネート論		2		
		ブライダルコーディネート演習		1		
		メイクアップ論		2		
		メイクアップ演習		1		
	ネ ィ ル ア ー ト デ ザ イ ン	ネイルアート演習Ⅰ		1		
		ネイルアート演習Ⅱ		1		
	服 飾 デ ザ イ ン	洋裁基礎演習		1		
		被服材料学		2		
		繊維学実験法		2		
被服構成実習(和裁)			1			
染色学			2			
ファッションデザイン論			2			
ファッションビジネス論		2				

授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
選択科目	住居デザイン	住まいの法規	1		
		住まいの施工	1		
		住まいの構法	2		
		インテリアコーディネート概論	2		
		インテリア設計製図	1		
		建築CAD演習	1		
		インテリアデザイン論	2		
		住居計画学	2		
		住宅デザイン実習Ⅰ	1		
		住宅デザイン実習Ⅱ	1		
		住まいの構造	2		
		住まいの材料	2		
		宅地建物と法	2		
	フードデザイン	製パン・製菓実習	1		
		調理学実習Ⅰ	1		
		調理学実習Ⅱ	1		
		栄養学	2		
		食品学	2		
		食品加工学	2		
		食品学演習	1		
		フードコーディネート論	2		
		ライフステージ栄養学	2		
		食品加工学実習	1		
		食品衛生学	2		
		フードスペシャリスト論	2		
	情報	食生活論	2		
		フードコーディネーターの基礎	2		
		フードコーディネーター実習	1		
		情報科学Ⅰ	2		
		情報科学Ⅱ	2		
		生活情報技術	1		
	ビジネス	データベース技術論	2		
		コンピュータと情報発信	2		
		コンピュータネットワーク概論	2		
		秘書ビジネス論	2		
		秘書実務Ⅰ	1		
秘書実務Ⅱ		1			
社会調査論		2			
心理	マーケティング論	2			
	経営会計実務処理	2			
	医療事務概論	2			
	ビューティ心理学	2			
	子ども心理学	2			
	犯罪心理学	2			
	恋愛心理学	2			
動物心理学	2				
音楽心理学演習	1				
カウンセリング論	2				

授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
選 択 科 目	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	プレゼンテーション概論		2	中免取得希望者のみ
		プレゼンテーション演習Ⅰ		1	
		プレゼンテーション演習Ⅱ		1	
		プロジェクト演習		1	
		ビジネスコミュニケーション		1	
		日本語表現		2	
		ビジネス英語コミュニケーションⅠ		2	
		ビジネス英語コミュニケーションⅡ		2	
		実践資格英語Ⅰ		1	
		実践資格英語Ⅱ		1	
		中国語コミュニケーションⅠ		1	
		中国語コミュニケーションⅡ		1	
	教 員 ・ 公 務 員	家庭科指導法(中)		2	
		公務員研究Ⅰ		2	
公務員研究Ⅱ			2		
計		5	159	50	

食物栄養学科

授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
	必修	選択		
栄 養 士 資 格 に 関 す る 科 目	公衆衛生学	2		
	社会福祉論	2		
	解剖学	2		
	生化学	2		
	生理学	2		
	臨床医学概論	2		
	基礎食品学	2		
	応用食品学	2		
	食品衛生学	2		
	解剖生理学実習	1		
	生化学実験	1		
	食品学実験 I	1		
	食品衛生学実験	1		
	基礎栄養学	2		
	応用栄養学	2		
	臨床栄養学	2		
	健康食育論	2		
	栄養教育・指導論	2		
	栄養カウンセリング論	2		
	栄養情報処理演習	1		
	公衆栄養学	2		
	給食計画実務論	2		
	調理学	2		
	給食運営管理実習 I	1		
	給食運営管理実習 II	1		
	校外実習	1		
	栄養教育・指導論実習	1		
	栄養学実習 I	1		
	栄養学実習 II	1		
	臨床栄養学実習	1		
調理学実習 I	1			
調理学実習 II	1			
クリエイティブクッキング	1			

授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
栄養士以外の資格に関する科目	食環境論演習		1		
	応用微生物学		2		
	食品学実験Ⅱ (基礎化学実験を含む)		1		
	食品加工学		2		
	フードスペシャリスト論		2		
	フードコーディネート論		2		
	食料経済 (食品流通を含む)		2		
	学校栄養教育論		2		
選択科目	やさしい生物		2		
	やさしい化学		2		
	スポーツ栄養学		2		
	栄養士実務技術演習		1		
	食物栄養学セミナー		1		
	食物アレルギー論		2		
	アレルギー対応食実習		1		
	栄養士へのアプローチ		2		
	食文化栄養学セミナー (「食」と神戸)		1		
計		9	70	50	

幼児教育学科

授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	国語		2	6単位以上選択必修	
	算数		2		
	生活		2		
	音楽(器楽)A1		1		
	音楽(器楽)A2		1		
	音楽(器楽)B		1		
	音楽(器楽)C		1		
	音楽(歌唱)A		1		
	音楽(歌唱)B		1		
	音楽(歌唱)C		1		
	図画工作		1		
	体育		1		
	保育内容の指導法(健康)		1		
	保育内容の指導法(人間関係)		1		
	保育内容の指導法(環境)		1		
	保育内容の指導法(言葉)		1		
保育内容の指導法(表現)		1			
保育内容の指導法A		1			
保育内容の指導法B		1			
保育内容の指導法C		1			
教育の基礎的理解に関する科目	教職原論	2			
	教育原理(教育史及び社会的、制度的又は経営的事項を含む)	2			
	教育心理学	2			
	特別支援教育		2		
	教育課程論		2		
	教育課程論演習		1		
道徳、総合的な学習及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法・技術		2		
	幼児理解の理論・方法		2		
	教育相談の理論・方法(カウンセリングを含む)		2		
教育に関する実践科目	教育実習指導		1		
	教育実習		4		
	保育・教職実践演習(幼稚園)		2		
教職関連科目	教育情報処理演習		1		
	学科特別演習Ⅰ	1			
	学科特別演習Ⅱ	1			
	保育者のキャリア形成論		2		
保育に関する専門科目	保育原理	2			
	子ども家庭福祉		2		
	社会福祉		2		
	子ども家庭支援論		2		
	社会的養護Ⅰ		2		
	社会的養護Ⅱ		1		
	保育者論	2			

授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
保 育 に 関 す る 専 門 科 目	保育の心理学		2		
	子ども家庭支援の心理学		2		
	子どもの理解と援助		1		
	子どもの保健		2		
	子どもの食と栄養Ⅰ		1		
	子どもの食と栄養Ⅱ		1		
	保育内容総論		1		
	乳児保育Ⅰ		2		
	乳児保育Ⅱ		1		
	子どもの健康と安全		1		
	障害児保育Ⅰ		1		
	障害児保育Ⅱ		1		
	子育て支援Ⅰ		1		
	子育て支援Ⅱ		1		
	保育実習Ⅰ(保育所)		2		
	保育実習Ⅰ(施設)		2		
	保育実習指導Ⅰ(事前)		1		
	保育実習指導Ⅰ(事後)		1		
	食育論(子どもと食生活)		2		
	食生活基礎技術演習		1		
	保育カウンセリング		2		
	子どもの遊びと文化		1		
	伴奏法		1		
	造形表現研究		1		
	保育実習Ⅱ		2		
	保育実習Ⅲ		2		
保育実習指導Ⅱ		1			
保育実習指導Ⅲ		1			
計		12	91	50	

別表第2（第27条関係）

（1）幼稚園教諭二種免許状に関する科目

免許状の種類	授業科目		単位数		備考
			必修	選択	
幼二種免	免許法施行規則第66条の6に定める科目		日本国憲法	2	6単位以上
			体育講義	2	
			体育実技	1	
			英語コミュニケーション（a）	1	
			英語コミュニケーション（b）	1	
			情報リテラシー （コンピュータの活用）	1	
			教育情報処理演習	1	
	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	国語	2	
			算数	2	
			生活	2	
			音楽（器楽）A1	1	
			音楽（器楽）A2	1	
			音楽（器楽）B	1	
			音楽（器楽）C	1	
			音楽（歌唱）A	1	
音楽（歌唱）B			1		
音楽（歌唱）C			1		
保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容の指導法（健康）	1			
	保育内容の指導法（人間関係）	1			
	保育内容の指導法（環境）	1			
	保育内容の指導法（言葉）	1			
	保育内容の指導法（表現）	1			
	保育内容の指導法A	1			
	保育内容の指導法B	1			
保育内容の指導法C	1				
大学が独自に設定する科目		—	—	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」について併せて2単位以上を修得	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理（教育史及び社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育原理（教育史及び社会的、制度的又は経営的事項を含む）	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職原論	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論 教育課程論演習	2 1		
徒時道徳、指導等の総合的な教育指法な談及び学習に生の	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育の方法・技術	2		
	幼児理解の理論及び方法	幼児理解の理論・方法	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論・方法（カウンセリングを含む）	2		
教育する実践科目に関	教育実習	教育実習指導 教育実習	1 4		
	教職実践演習	保育・教職実践演習（幼稚園）	2		
計		46	10	免許状取得必要単位数 幼二種免 46単位以上	

注）別表第2（1）に掲げる授業科目は学則第24条に定める幼児教育学科の単位に算入する。



(2) 中学校教諭二種免許状に関する科目

免許状の種類	授業科目		単位数		備考	
			必修	選択		
中二種免 (家庭)	免許法施行規則第66条の6に定める科目		※日本国憲法	2		
			※体育講義	2		
			※体育実技	1		
			※英語コミュニケーション (a)	1		
			※英語コミュニケーション (b)	1		
			※情報リテラシー (コンピュータの活用)	1		
			※情報基礎演習	1		
	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	※家庭経営 (家庭経済を含む)	2	
			被服学 (被服製作実習を含む。)	※被服学	2	
				※被服構成基礎実習	1	
食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)			※栄養学	2		
			※食品学	2		
		※調理学実習 I	1			
	住居学	※住居学	2			
	保育学 (実習を含む。)	※保育学 (実習を含む)	2			
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	※家庭科指導法 (中)	2			
大学が独自に設定する科目		※社会福祉概論		2		
		※消費生活論		2	4単位以上	
		教育法規		2		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理 (教育史及び社会的、制度的又は経営的事項を含む)	2	栄養教諭二種免許状との共通開設科目	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)					
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職原論	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	栄養教諭二種免許状との共通開設科目	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	2	栄養教諭二種免許状との共通開設科目	
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2	栄養教諭二種免許状との共通開設科目		
等道徳の指導法及び総合的な学習の時間に関する科目	道徳の理論及び指導法		道徳指導法	2		
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法・技術	2		
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論 (進路指導を含む)	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法		教育相談の理論・方法 (カウンセリングを含む)	2		
に教科関する実践	教育実習		教育実習指導	1		
			教育実習	4		
	教職実践演習		教職実践演習 (中)	2		
計			54	6	免許状取得必要単位数中二種免58単位以上	

(注) 別表第2 (2) に掲げる※印の授業科目は学則第24条に定める総合生活学科の単位に算入する。

(3) 栄養教諭二種免許状に関する科目

免許状の種類	授業科目		単位数		備考	
			必修	選択		
栄養二種免	免許法施行規則第66条の6に定める科目		※日本国憲法	2		
			※体育講義	2		
			※体育実技	1		
			※英語コミュニケーション (a)	1		
			※英語コミュニケーション (b)	1		
			※情報リテラシー (コンピュータの活用)	1		
			※栄養情報処理演習	1		
	栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	※学校栄養教育論	2		
		幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項				
		食生活に関する歴史的及び文化的事項				
		食に関する指導の方法に関する事項				
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理 (教育史及び社会的、制度的又は経営的事項を含む)	2		中学校教諭二種免許状との共通開設科目
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)				
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職原論	2		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		中学校教諭二種免許状との共通開設科目
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2		中学校教諭二種免許状との共通開設科目
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2		中学校教諭二種免許状との共通開設科目
の道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	教育の方法・技術 (道徳・特別活動・総合的な学習の内容を含む)	2			
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)					
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (教育相談の理論・方法を含む)	2			
教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法						
関する実科実践に	栄養教育実習	栄養教育実習指導	1			
		栄養教育実習	1			
	教職実践演習	教職実践演習 (栄養教諭)	2			
計			29		免許状取得必要単位数 栄養二種免29単位	

(注) 別表第2(3)に掲げる※印の授業科目は学則第24条に定める食物栄養学科の単位に算入する。

別表第3（第27条関係）  
 栄養士免許証に関する科目

栄養士法施行令第10条第3号及び同法施行規則別表第1に定める科目			本学授業科目		
教育内容	単位数		科目名	単位数	
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学	2	
			社会福祉論	2	
			社会生活と健康の小計	4	
人体の構造と機能	8		解剖学	2	
			生化学	2	
			生理学	2	
			臨床医学概論	2	
			解剖生理学実習		1
			生化学実験		1
			人体の構造と機能の小計	8	2
食品と衛生	6	4	基礎食品学	2	
			応用食品学	2	
			食品衛生学	2	
			食品学実験Ⅰ		1
			食品衛生学実験		1
			食品と衛生の小計	6	2
栄養と健康	8	10	基礎栄養学	2	
			応用栄養学	2	
			臨床栄養学	2	
			健康食育論	2	
			栄養学実習Ⅰ		1
			栄養学実習Ⅱ		1
			臨床栄養学実習		1
		栄養と健康の小計	8	3	
栄養の指導	6	10	栄養教育・指導論	2	
			栄養カウンセリング論	2	
			公衆栄養学	2	
			栄養情報処理演習	1	
			栄養教育・指導論実習		1
		栄養の指導の小計	7	1	
給食の運営	4	10	給食計画実務論	2	
			調理学	2	
			給食運営管理実習Ⅰ		1
			給食運営管理実習Ⅱ		1
			校外実習		1
			調理学実習Ⅰ		1
			調理学実習Ⅱ		1
			クリエイティブクッキング		1
		給食の運営の小計	4	6	
	36	14	小計	37	14
	50		合計	51	

(注) 別表第3に掲げる授業科目は学則第24条に定める食物栄養学科の単位に算入する。

別表第4（第27条関係）

保育士資格に関する科目

授業科目		単位数		備考	
		必修	選択		
告示に定める科目	教養科目	教育学		2	
		日本国憲法	2		
		情報リテラシー（コンピュータの活用）	1		
		教育情報処理演習	1		
		英語コミュニケーション（a）	1		
		英語コミュニケーション（b）	1		
		体育講義	2		
		体育実技	1		
告示別表第1に定める科目	保育の本質 する科目・目的 に 関	保育原理	2		
		教育原理（教育史及び社会的、制度的又は経営的事項を含む）	2		
		子ども家庭福祉	2		
		社会福祉	2		
		子ども家庭支援論	2		
		社会的養護Ⅰ	2		
		保育者論	2		
	保育に 関する 対象の 科目 理 解	保育の心理学	2		
		子ども家庭支援の心理学	2		
		子どもの理解と援助	1		
		子どもの保健	2		
		子どもの食と栄養Ⅰ	1		
	子どもの食と栄養Ⅱ	1			
	保育の内容・ 方法に 関する 科目	教育課程論	2		
		保育内容総論	1		
		保育内容の指導法（健康）	1		
		保育内容の指導法（人間関係）	1		
		保育内容の指導法（環境）	1		
		保育内容の指導法（言葉）	1		
		保育内容の指導法（表現）	1		
		音楽（器楽）A1	1		
		音楽（歌唱）A	1		
		図画工作	1		
		体育	1		
乳児保育Ⅰ		2			
乳児保育Ⅱ	1				
子どもの健康と安全	1				
障害児保育Ⅰ	1				
障害児保育Ⅱ	1				

授業科目			単位数		備考
			必修	選択	
告示別表第1に定める科目	に容保 科関・育 目す方 る法内	社会的養護Ⅱ	1		
		子育て支援Ⅰ	1		
		子育て支援Ⅱ	1		
	保育 実習	保育実習Ⅰ（保育所）	2		
保育実習Ⅰ（施設）		2			
保育実習指導Ⅰ（事前）		1			
保育実習指導Ⅰ（事後）		1			
総合演習	保育・教職実践演習（幼稚園）	2			
告示別表第2に定める科目	に象保 科関の育 目す理の る解対	食育論（子どもと食生活）	2		
		食生活基礎技術演習	1		
		保育カウンセリング		2	
	保育 の内容 ・方法 に 関 する 科 目	保育内容の指導法A	1		
		保育内容の指導法B	1		
		保育内容の指導法C	1		
		音楽（器楽）A 2		1	
		音楽（器楽）B	1		
		音楽（器楽）C		1	
		音楽（歌唱）B	1		
		音楽（歌唱）C		1	
		子どもの遊びと文化		1	
		伴奏法		1	
	造形表現研究		1		
保育 実習	保育実習Ⅱ		2	} 2単位以上	
	保育実習Ⅲ		2		
	保育実習指導Ⅱ		1	} 1単位以上	
	保育実習指導Ⅲ		1		
計			69	16	資格取得必要単位数 7 2単位以上

(注) 別表第4に掲げる授業科目は学則第24条に定める幼児教育学科の単位に算入する。

別表第5（第28条の2関係）

学納金

入	学	金	250,000 円
授	業	料（年額）	850,000 円
教育・施設充実費 （年額）	総合生活学科		(1 年次) 260,000 円 (2 年次) 270,000 円
	食物栄養学科		(1 年次) 280,000 円 (2 年次) 300,000 円
	幼児教育学科		(1 年次) 220,000 円 (2 年次) 250,000 円
実習費 （学外実習費）	栄養実習	食物栄養学科	10,000 円
	教育実習	総合生活学科	※8,000 円
		幼児教育学科	※8,000 円
	栄養教育実習	食物栄養学科	※8,000 円
保育実習	幼児教育学科	50,000 円	

※ 実習委託先への「実習委託費」の支払いがある場合は、「5,000円／週」を基本額とし別途徴収する。

## 変更事項を記載した書類

### I. 改正の理由

各学科の入学定員を減じてその実質化を図ることとし、学則の関係条文を改正する。

### II. 改正の内容

1. 本文第2条の各学科の「入学定員」を「総合生活学科 100人」、「食物栄養学科 60人」及び「幼児教育学科 80人」に改め、「収容定員」をそれぞれ「200人」、「120人」及び「160人」に改める。また、食物栄養学科の入学定員の変更に伴い、同条第2項に定める「クラス数」を「2クラス」に改める。
2. 本文に、附則を加える。

### III. 施行期日

令和3年4月1日

以上

変更部分の新旧対照表

改正後	改正前																																							
<p>(目的) 第1条 (略) 第1条の2</p> <p>第2章 学科、学生定員及び修業年限</p> <p>(学科及び学生定員) 第2条 本学において設置する学科及びその学生定員は、次のとおりとする。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>学 科</td> <td>入学定員</td> <td>収容定員</td> </tr> <tr> <td>総合生活学科</td> <td><u>100</u>人</td> <td><u>200</u>人</td> </tr> <tr> <td>食物栄養学科</td> <td><u>60</u>人</td> <td><u>120</u>人</td> </tr> <tr> <td>幼児教育学科</td> <td><u>80</u>人</td> <td><u>160</u>人</td> </tr> </table> <p>2 本学の食物栄養学科のクラス数は、1学年2クラスとする。 (修業年限及び在学年限)</p> <p>第3条 (略) 第45条</p> <p>附則</p> <p>1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。 2 第2条に規定する令和3年度の収容定員は、次のとおりとする。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">年度</td> <td style="border: none;">令和3年度</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">学 科</td> <td style="border: none;">収容定員</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">総合生活学科</td> <td style="border: none;"><u>220</u>人</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">食物栄養学科</td> <td style="border: none;"><u>180</u>人</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">幼児教育学科</td> <td style="border: none;"><u>180</u>人</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table> <p>3 この学則の施行前に在学する学生については、なお、従前の例による。</p>	学 科	入学定員	収容定員	総合生活学科	<u>100</u> 人	<u>200</u> 人	食物栄養学科	<u>60</u> 人	<u>120</u> 人	幼児教育学科	<u>80</u> 人	<u>160</u> 人		年度	令和3年度	学 科	収容定員		総合生活学科	<u>220</u> 人		食物栄養学科	<u>180</u> 人		幼児教育学科	<u>180</u> 人		<p>(目的) 第1条 (略) 第1条の2</p> <p>第2章 学科、学生定員及び修業年限</p> <p>(学科及び学生定員) 第2条 本学において設置する学科及びその学生定員は、次のとおりとする。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>学 科</td> <td>入学定員</td> <td>収容定員</td> </tr> <tr> <td>総合生活学科</td> <td><u>120</u>人</td> <td><u>240</u>人</td> </tr> <tr> <td>食物栄養学科</td> <td><u>120</u>人</td> <td><u>240</u>人</td> </tr> <tr> <td>幼児教育学科</td> <td><u>100</u>人</td> <td><u>200</u>人</td> </tr> </table> <p>2 本学の食物栄養学科のクラス数は、1学年3クラスとする。 (修業年限及び在学年限)</p> <p>第3条 (略) 第45条</p> <p>附則 (新設)</p>	学 科	入学定員	収容定員	総合生活学科	<u>120</u> 人	<u>240</u> 人	食物栄養学科	<u>120</u> 人	<u>240</u> 人	幼児教育学科	<u>100</u> 人	<u>200</u> 人
学 科	入学定員	収容定員																																						
総合生活学科	<u>100</u> 人	<u>200</u> 人																																						
食物栄養学科	<u>60</u> 人	<u>120</u> 人																																						
幼児教育学科	<u>80</u> 人	<u>160</u> 人																																						
	年度	令和3年度																																						
学 科	収容定員																																							
総合生活学科	<u>220</u> 人																																							
食物栄養学科	<u>180</u> 人																																							
幼児教育学科	<u>180</u> 人																																							
学 科	入学定員	収容定員																																						
総合生活学科	<u>120</u> 人	<u>240</u> 人																																						
食物栄養学科	<u>120</u> 人	<u>240</u> 人																																						
幼児教育学科	<u>100</u> 人	<u>200</u> 人																																						